

兵庫商品開発プロジェクト DEN

谷本リリアン（環境人間学部 食環境栄養課程 2 年生）

キーワード：地域交流，食文化，多世代交流

1. 団体概要

食環境栄養課程の学生で構成された団体であり、「田畑からの恵みを町へ」をコンセプトとしている。季節にあった料理などのレシピの考案から試作をし、SNS への投稿で拡散している。地域のおいしい旬の食材を使ってレシピや商品の開発、カフェの運営を行い、提供し（現在、新型コロナウイルスにより休業中）、生産者と消費者をつなげたいという想いで活動している。

2. 2022 年の活動内容

新型コロナウイルスの影響でカフェの運営が残念ながら難しかったが、去年に引き続き毎月レシピの考案をし、インスタグラムとツイッターの SNS ツールに投稿する活動をした。季節ごとの旬の野菜などを使用した料理や、ひな祭り・こどもの日・七夕といったイベントごとの料理も取り入れた。

アクリエ姫路 1 周年記念イベントでは料理を提供することが可能ということで、フライドポテトを調理しお客様に提供した。このイベントで使用したじゃがいもは学生団体「畑っ子」から買い取らせて

いただいたものであり学生団体同士のつながりを拡大することができた。

福崎町で行われた食育教室では小学生ともち麦を使った料理をつくった。事前にレシピの考案をし、当日はグループごとの調理の進行を担当した。食育教室はグループワークのリーダーとしての役目を経験できるだけではなく、複数の小学生と交流ができる体験となった。

3. 活動を通して学んだこと

この一年で活動できる幅が増え、様々な人との交流の場を設けることができた。特に団体のメンバーとの対面での交流の場が増えたと感じた一年であった。

毎月の SNS 投稿のためのレシピを考案する際に班員と話し合い、お互いにアイデアを出し合うなかで、さらに食事に関する興味が深まる機会となった。

また、大学内で調理・試食をする許可が下り、実際に DEN のメンバーとともに実施した。現在カフェを運営できない状態であるため、メンバー同士の交流の場となった。調理過程の効率化をコミュニケーションによって高め、栄養管理栄養士として将来活躍するための力となる助けになった。

表 1 2022 年度の主な活動内容

月	SNS にてレシピ投稿
8 月	オープンキャンパス
9 月	アクリエ姫路 1 周年記念イベント
10 月	もち麦版 食育教室



写真 1 食育教室にも使用したちらし寿司
写真 2 パウンドケーキ（7月の SNS 投稿用レシピ）
（出所：所属学生撮影）

4. 今後の展望

新型コロナウイルスの影響で料理を提供する事が難しいという課題がある中、少しずつ活動の幅が増えつつある。大学内でのイベントに参加したり、他の学生団体との交流を増やしたりするだけでなく、大学外での活動も増やしたいと考えている。SNS での投稿は今後も学生団体 DEN について知ってもらうためのツールとして続けていきたい。

大学外での具体的な活動内容は決まっていないものの、多世代交流の場となる福崎町との活動を続けるとともに、地域のイベントの参加やコラボのプロジェクトも機会が訪れたら取り組みたいと考えている。